

平成二七年度卒論修論研究発表会報告

日時…平成二八(二〇一六)年三月一日(火)

会場…横浜国立大学教育人間科学部講義棟六号館二〇一教室

〈修士論文〉

西本はる華 「宮崎駿『風立ちぬ』論―菜穂子が導く〈物語〉―」

(一柳)

窪田 祐樹 「今と昔を結ぶ古典教材開発―物語絵から読む『伊勢物語』の考察―」

(三宅)

大竹 文美 「算数的思考と創造力の伸長を図った指導における日本語能力の発達―パターンブロックを利用した

年少者への実践研究―」

(橋本)

〈卒業論文〉

関岡 雄貴 「小学校常用漢字1006字を効率よく覚えるための

パーツ―小学校という連続した発達段階を考慮して―」

(河野)

関川 南海 「多言語的背景を持つ子どもたちの協働の読みによる

学びの違い―生活言語生態系基盤学習をもとに―」

(橋本)

西澤 友宏 「神となった関羽」

(高芝)

大野 文嵩 「『鉄道員』論―「ポッポヤ」の死、そして再生へ―」

(一柳)

安野 葵

「『源氏物語』研究―玉鬘の人物造型―」 (三宅)

馬場真莉子

「ICT教育の課題から探る効果的な活用法―アナログ媒体とデジタル媒体の学習用具における比較について―」 (高木)

相原 俊介

「学習者の「思考力」に資する書写指導―十九の思考スキルを取り入れた学習指導理論の構築に向けて―」 (青山)

*菊地 彩

「女性の談話における『使えない語形式』について」 (金澤) は、レジュメ配付をもって発表に代える。